

日本缶詰資料集 全5巻



監修: 河原典史(立命館大学文学部教授)

揃定価 99,000 円(90,000 円+10%税)

ISBN 978-4-86670-057-1(セット)C3360

A5 判/全 2,447 頁/上製函入/クロス装

日本における缶詰の歴史は明治維新後すぐに始まった。

欧米から食品の長期保存技術として缶詰の製法が伝えられ、軍需から民需へ、やがて外貨獲得のための一大産業へと発展していった。

収録した資料には、それらの技術がどのように発展したかの沿革を詳細に書いた記述も含まれている。

缶詰製法の技術が日本の近代化に何をもたらしたのか、あらゆる角度から検討してもらいたい。

第1巻 東京缶詰同業組合十年史

定価 19,800 円(18,000 円+10%税) ISBN 978-4-86670-052-6

第2巻 缶詰要覧(1)

定価 19,800 円(18,000 円+10%税) ISBN 978-4-86670-053-3

第3巻 缶詰要覧(2)

定価 19,800 円(18,000 円+10%税) ISBN 978-4-86670-054-0

第4巻 大阪の缶詰工業

定価 19,800 円(18,000 円+10%税) ISBN 978-4-86670-055-7

第5巻 日本水産物缶詰製造業要覧

定価 19,800 円(18,000 円+10%税) ISBN 978-4-86670-056-4